

##見出し

臭いの問題解決に前進

AWIと提携視野に

FGWCとも協同步調を

##本文

ベストウールクラブ（略称＝BWC・野村利泰会長）は、4月9日、東京・中央区八重洲の日本ふとん製造協同組合（略称＝JFMA）会議室で、「第118回定例会」を開催しました。

冒頭、野村会長が、「期が変わり2回目の定例会となりました。前回で打ち出した（2年間の）活動方針を掘り下げていき、一つひとつ完結させていきたいと思えます。各位の更なる理解と協力をお願いします」とあいさつしました。

引き続き、次の6項目について議案審議を行いました。

【議題①】後藤稔書記が、前回「第117回定例会」のレビュー（議事報告）を行いました。

【議題②】AWIとの戦略的提携について

(a)羊毛の不快な臭いに関する基準作成について、AWIと協力して進めていくことを確認しました。～AWI日本支社・井上支社長にも同基準を日本市場に限定することを前提に、了承を頂いています～

(b)同基準作成について、ファイングレード・ウールクラブとも共同で作成を進めることを確認しました。～基準の詳細については両クラブ間において、技術委員会を設置し討議を行います～

【議題③】羊毛の不快な臭いに関する基準作成について

前回の定例会に引き続きQテック遠藤氏に参加頂き、各種サンプルの試験結果を元に討議しましたが、今回の試験結果から臭いの基準となる数値を導くことは難しく、次回定例会までに、さらに油脂分の高いサンプルでの試験を行い継続審議することとなりました。

【議題④】「ウオッシュャブル羊毛ふとん」の開発について

大東紡寝装、野村社長より同社加工によるイーウールのご提案があり、同羊毛を使った製品開発も含めて継続審議となりました。

【議題⑤】賛助会員より最新情報の提供

名川織商、興国繊維より羊毛原料、カネヨウより羽毛原料、帝人よりポリエステル原料の状況説明を行いました。

【議題⑥】その他

○今年度研修会について

6月に研修会を実施することを決定しました。研修内容は決定後、執行部より連絡。

○2014年海外研修について

次回定例会において詳細を検討。

定例会は、後藤利広会計監事の閉会のあいさつで終了しました。